

# アスファルト混合物報告書

2026年2月27日

様

製造会社

所在地 鳥取県米子市古豊千372

工場名 米子舗材株式会社

配合の設計条件				
混合物の種別	骨材の最大寸法	基準密度	混合温度	
粗粒度アスコン(20) (ECOフォームト)	20 mm	2.396 g/cm <sup>3</sup>	140~160 °C	
空隙率	飽和度	安定度	フロー値	
4.1 %	73.7 %	10.21 kN	33 1/100cm	
D S 値				
-	回/mm			
使用材料及び配合表				
使用材料名	産地名	生産者名	配合率(%)	備考
ストレートアスファルト(60~80)	岡山県倉敷市水島	ENEOS(株)	5.00	
石粉	岡山県新見市足立	足立石灰工業(株)	18.8	
砕石 5号	岡山県久米郡久米南町	坂田砕石工業(株)	18.1	
砕石 6号			17.1	
砕石 6号	鳥取県日野郡日野町	(株)ケイナン	16.2	
砕石 7号	岡山県久米郡久米南町	坂田砕石工業(株)	9.5	
砕砂			10.5	
粗砂	島根県安来市広瀬町	(有)越野組	4.8	
細砂	鳥取県東伯郡北栄町	(有)きのえ	-	

# アスファルト混合物配合設計報告書

混合物：粗粒度アスコン(20)(ECOフォームト)

2026年 2月

米子舗材 株式会社

# アスファルト混合物配合設計総括表

報告年月日 2026年 2月 9日

混合物の種類 粗粒度アスコン(20)(ECOフォーマット)

報告者 村島 誠治

## 1. 使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産地	材質
5号碎石	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
6号碎石	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
6号碎石(ケイナン)	株式会社ケイナン	鳥取県日野郡日野町	硬質粘板岩
7号碎石	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
砕砂	坂田碎石工業株式会社	岡山県久米郡久米南町	硬質粘板岩
粗砂	有限会社越野組	島根県安来市広瀬町	丘砂
石粉	足立石灰工業株式会社	岡山県新見市足立	炭酸カルシウム
ストレートAs60-80	ENEOS株式会社	岡山県倉敷市水島	舗装用石油As

## 2. 配合割合

材料名	5号碎石	6号碎石	6号砕石(ケイナン)	7号碎石	砕砂	粗砂	石粉					AS	計
室内配合%	18.8	18.1	17.1	16.2	9.5	10.5	4.8					5.0	100.0
ピン名	5ピン	4ピン	3ピン	2ピン	1ピン	回収ダスト	石粉					AS	計
現場配合%		17.1	34.0	16.2	21.9	1.0	4.8					5.0	100.0

## 3. 合成粒度

ふるい目	53mm	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600µm	300	150	75
通過質量百分率%				100.0	97.8	79.8		43.6	27.5		14.2	9.9	7.2	5.5
粒度範囲	上限			100	100	90		55	35		23	16	12	7
	下限			100	95	70		35	20		11	5	4	2

## 4. 設計アスファルト量の決定

試験項目	最適AS量 (%)	密度 (g/cm³)	理論密度 (g/cm³)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー (1/100cm)	残留安定度 (%)
試験値	5.0	2.396	2.499	4.1	73.7	10.21	33	90.4
基準値	上限	—	—	—	7	85	—	—
	下限	—	—	—	3	65	4.90以上	20



# 骨 材 粒 度 設 計

目 的 配 合 設 計 ( 室 内 )

試 験 年 月 日 2026年 2月 9日

混 合 物 の 種 類 粗 粒 度 ア ス コ ン ( 20 ) ( E C O フ ォ ー ム ト )

試 験 者 村 島 誠 治

### 3. 使用予定骨材の合成粒度

骨 材		5号碎石	6号碎石	6号碎石 ( ケイナン)	7号碎石	碎 砂	粗 砂	石 粉	
配 合 率 A %		20.0	19.0	18.0	17.0	10.0	11.0	5.0	
通 過 質 量 百 分 率 B %	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5	100.0							
	19	89.1	100.0	100.0					
	13.2	7.5	93.7	97.2	100.0		100.0		
	9.5								
	4.75	0.3	3.4	5.6	93.7	100.0	99.6		
	2.36		0.3	1.5	13.9	95.2	92.3		
	1.18								
	600 μm			0.4	1.0	42.2	42.8		
	300				0.6	25.6	19.8	100.0	
	150					15.4	7.4	97.9	
75					8.8	2.0	88.0		

### 各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)

各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)									合 成	粒 度 範 囲
53 mm										
37.5										
31.5										
26.5	20.0								100.0	100 ~ 100
19	17.8	19.0	18.0						97.8	95 ~ 100
13.2	1.5	17.8	17.5	17.0		11.0			79.8	70 ~ 90
9.5										
4.75	0.1	0.6	1.0	15.9	10.0	11.0			43.6	35 ~ 55
2.36		0.1	0.3	2.4	9.5	10.2			27.5	20 ~ 35
1.18										
600 μm			0.1	0.2	4.2	4.7			14.2	11 ~ 23
300				0.1	2.6	2.2	5.0		9.9	5 ~ 16
150					1.5	0.8	4.9		7.2	4 ~ 12
75					0.9	0.2	4.4		5.5	2 ~ 7

# 骨材の粒径加積曲線図

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2026年 2月 9日

混合物の種類 粗粒度アスコン(20) (ECOフォームト)

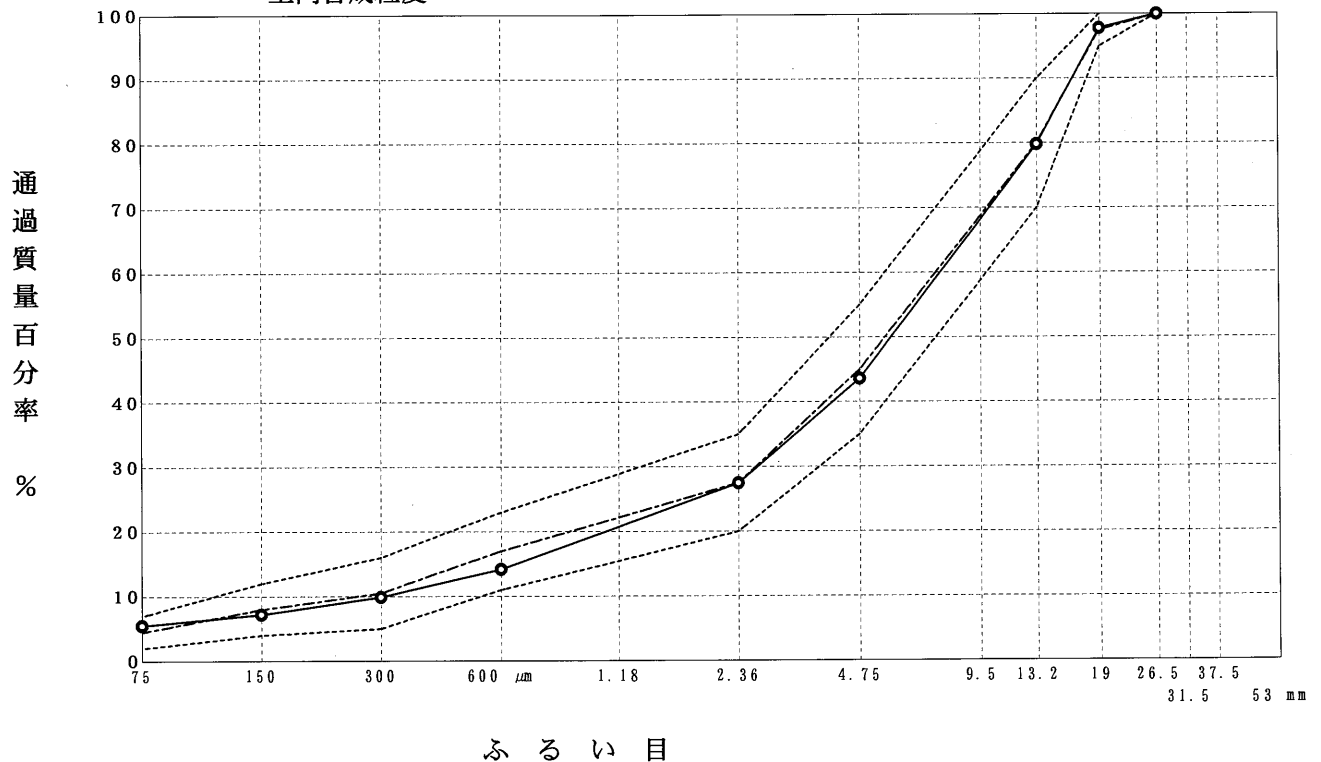
試験者 村島 誠治

## 5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
		室内合成粒度		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5		100.0	100.0	100
19		97.8	97.5	95 ~ 100
13.2		79.8	80.0	70 ~ 90
9.5				
4.75		43.6	45.0	35 ~ 55
2.36		27.5	27.5	20 ~ 35
1.18				
600 μm		14.2	17.0	11 ~ 23
300		9.9	10.5	5 ~ 16
150		7.2	8.0	4 ~ 12
75		5.5	4.5	2 ~ 7

## 6. 粒径加積曲線図

..... 粒度範囲  
 - - - - - 目標粒度  
 ———— 室内合成粒度





# マ ー シ ャ ル 安 定 度 試 験

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2026年 2月 9日

混合物の種類 粗粒度アスコン(20)(EC07オート)

試験者 村島 誠治

アスファルトの種類 ストレートAs60-80      アスファルトの粒度(A) 1.038      アスファルトの温度 160      骨材の温度 180      °C

突固め温度 145      °C      突固め回数 50      回      力計の係数(B) XYレコーダー

供試体番号	①	②			③	④	⑤	⑥		⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		⑫	⑬	⑭	⑮	⑯		⑰	⑱	⑲						
		1	2	3				4	容積 (cm <sup>3</sup> )					かさ (g/cm <sup>3</sup> )	密度理論 (g/cm <sup>3</sup> )					空隙率 (%)	飽和度 (%)				安定度 (kN)	安定度 (kN)				
1	6.27	6.27	6.27	6.23	6.26	6.26	6.26	6.26	1201.3	700.0	1203.5	503.5	2.386																	
2	6.25	6.24	6.25	6.24	6.25	6.24	6.25	6.25	1200.6	695.1	1202.9	507.8	2.364																	
3	6.32	6.31	6.33	6.32	6.32	6.32	6.32	6.32	1201.4	698.8	1204.0	505.2	2.378																	
平均														2.376	2.536		9.2	6.3	15.5	59.4						8.52	25	3408		
4	6.45	6.43	6.44	6.44	6.44	6.44	6.44	6.44	1205.1	702.8	1207.7	504.9	2.387																	
5	6.31	6.31	6.33	6.33	6.32	6.33	6.32	6.32	1204.8	705.1	1207.5	502.4	2.398																	
6	6.33	6.32	6.32	6.32	6.32	6.32	6.32	6.32	1204.4	704.1	1206.8	502.7	2.396																	
平均														2.394	2.517	10.4	4.9	15.3	68.0								9.32	28	3329	
7	6.25	6.25	6.26	6.27	6.26	6.27	6.26	6.26	1197.3	702.0	1199.8	497.8	2.405																	
8	6.28	6.28	6.27	6.29	6.28	6.29	6.28	6.28	1200.3	701.7	1202.9	501.2	2.395																	
9	6.38	6.40	6.38	6.38	6.39	6.38	6.39	6.39	1204.5	702.5	1206.7	504.2	2.389																	
平均														2.396	2.499	11.5	4.1	15.6	73.7								10.21	33	3094	
10	6.37	6.37	6.38	6.37	6.37	6.37	6.37	6.37	1200.7	698.8	1203.1	504.3	2.381																	
11	6.44	6.44	6.43	6.44	6.44	6.44	6.44	6.44	1199.0	702.5	1201.5	499.0	2.403																	
12	6.32	6.33	6.34	6.32	6.33	6.32	6.33	6.33	1198.8	699.1	1201.3	502.2	2.387																	
平均														2.390	2.480	12.7	3.6	16.3	77.9								10.07	38	2650	
13	6.31	6.31	6.31	6.30	6.31	6.30	6.31	6.31	1204.6	700.4	1207.0	506.6	2.378																	
14	6.36	6.36	6.34	6.34	6.35	6.34	6.35	6.35	1206.5	701.8	1208.9	507.1	2.379																	
15	6.39	6.39	6.39	6.38	6.39	6.38	6.39	6.39	1202.5	701.9	1204.6	502.7	2.392																	
平均														2.383	2.462	13.8	3.2	17.0	81.2								9.89	45	2198	

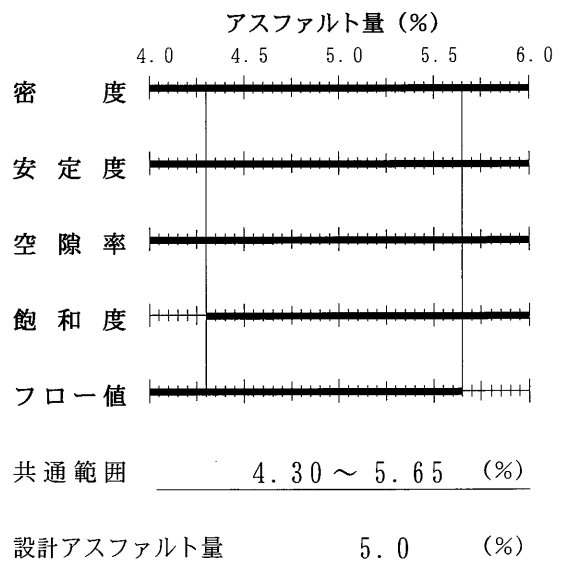
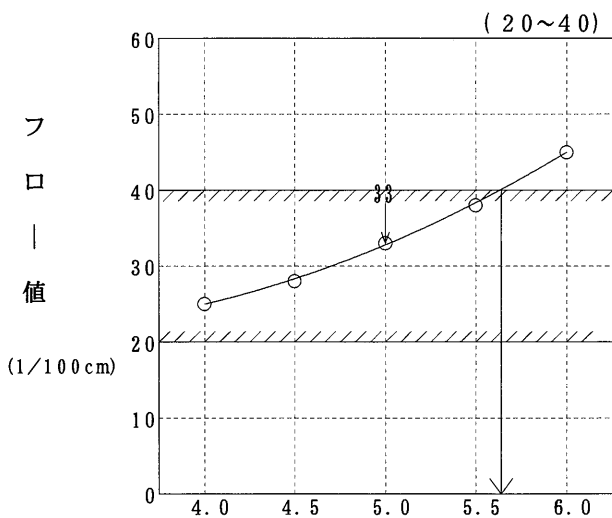
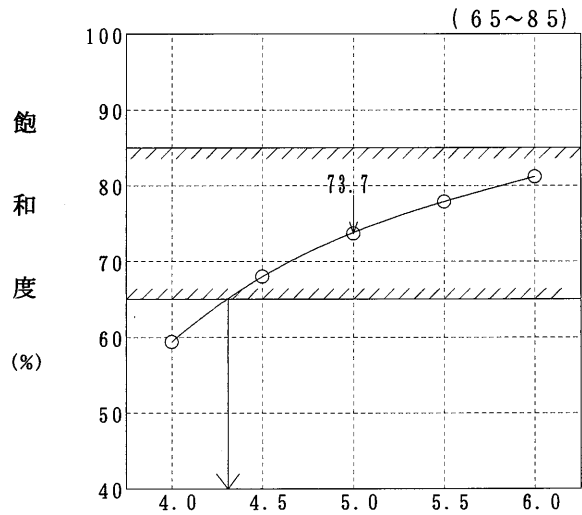
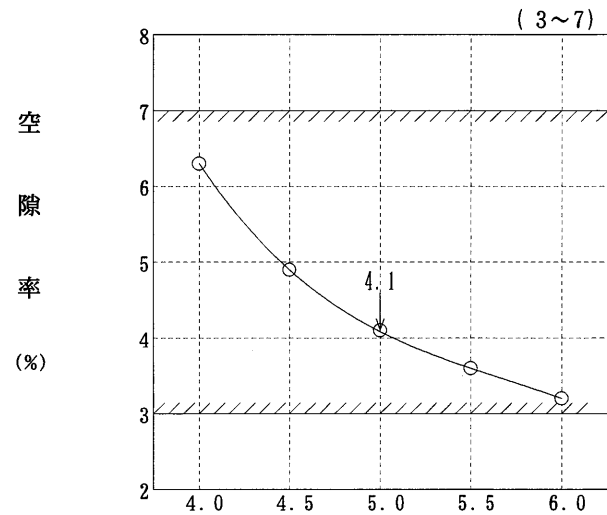
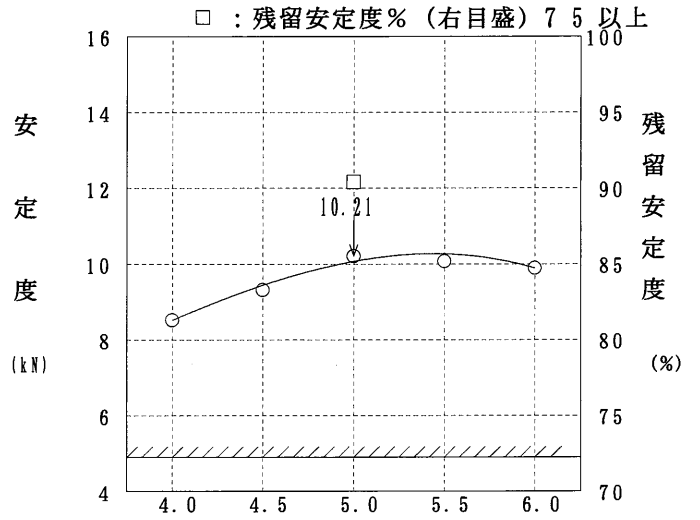
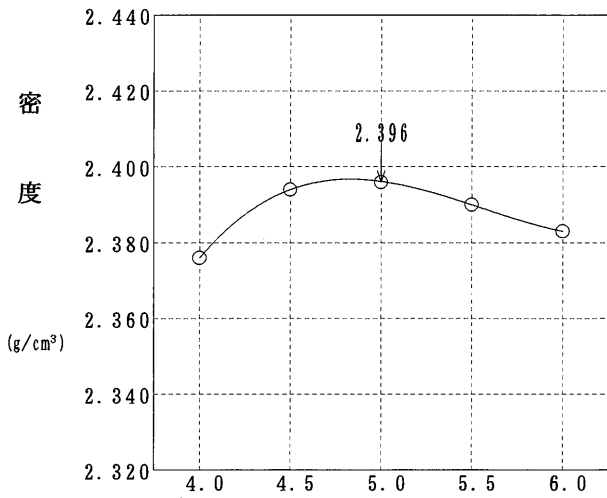
# 設計アスファルト量の決定

目的 配合設計 (室内)

試験年月日 2026年 2月 9日

混合物の種類 粗粒度アスコン(20) (ECOフォームト)

試験者 村島 誠治





# ホットビン粒度設計

目的 配合設計（現場）

試験年月日 2026年 2月 9日

混合物の種類 粗粒度アスコン(20)(ECOフォームト)

試験者 村島 誠治

### 3. 使用予定骨材の合成粒度

骨 材		4ピン	3ピン	2ピン	1ピン	回収ダスト	石粉		
配合率 A %		18.0	36.0	17.0	23.0	1.0	5.0		
通過 質量 百分率 B %	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5	100.0							
	19	95.0	100.0						
	13.2	1.6	96.6	100.0					
	9.5								
	4.75		1.5	97.0	100.0				
	2.36			1.7	98.9				
	1.18								
	600 μm				47.8	100.0			
	300				18.6	98.7	100.0		
	150				7.4	88.4	97.9		
75				1.1	79.3	88.0			

### 各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)

各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B)								合 成	粒度範囲
53 mm									
37.5									
31.5									
26.5	18.0							100.0	100 ~ 100
19	17.1	36.0						99.1	95 ~ 100
13.2	0.3	34.8	17.0					81.1	70 ~ 90
9.5									
4.75		0.5	16.5	23.0				46.0	35 ~ 55
2.36			0.3	22.7				29.0	20 ~ 35
1.18									
600 μm				11.0	1.0			17.0	11 ~ 23
300				4.3	1.0	5.0		10.3	5 ~ 16
150				1.7	0.9	4.9		7.5	4 ~ 12
75				0.3	0.8	4.4		5.5	2 ~ 7

# ホットビンの粒径加積曲線図

目的 配合設計 (現場)

試験年月日 2026年 2月 9日

混合物の種類 粗粒度アスコン(20)(ECOフォームト)

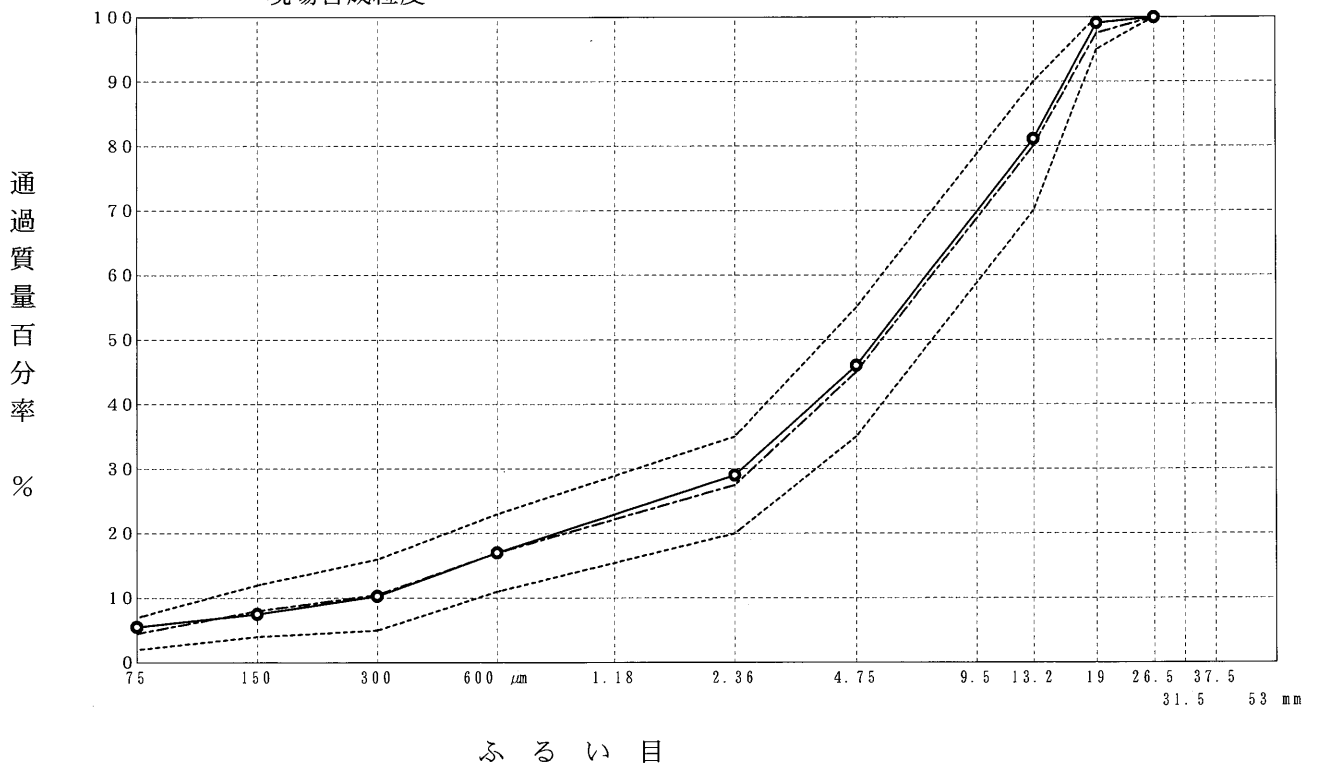
試験者 村島 誠治

## 5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		目標粒度	粒度範囲
		現場合成粒度		
53 mm				
37.5				
31.5				
26.5		100.0	100.0	100
19		99.1	97.5	95 ~ 100
13.2		81.1	80.0	70 ~ 90
9.5				
4.75		46.0	45.0	35 ~ 55
2.36		29.0	27.5	20 ~ 35
1.18				
600 μm		17.0	17.0	11 ~ 23
300		10.3	10.5	5 ~ 16
150		7.5	8.0	4 ~ 12
75		5.5	4.5	2 ~ 7

## 6. 粒径加積曲線図

- 粒度範囲
- 目標粒度
- 現場合成粒度







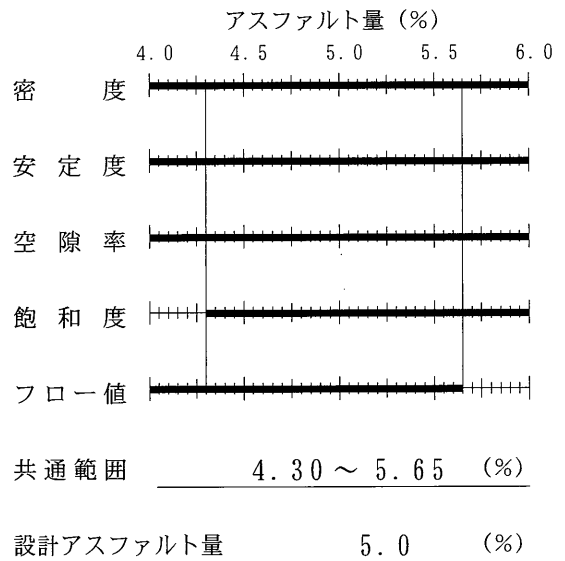
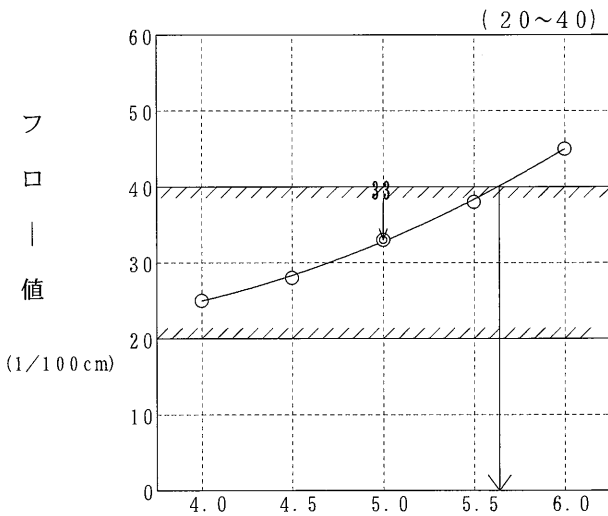
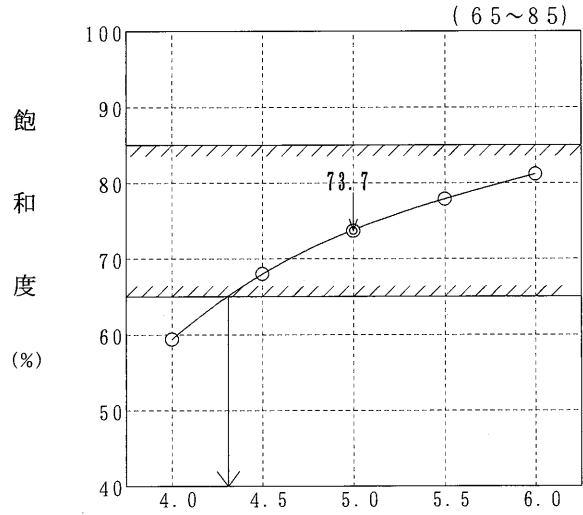
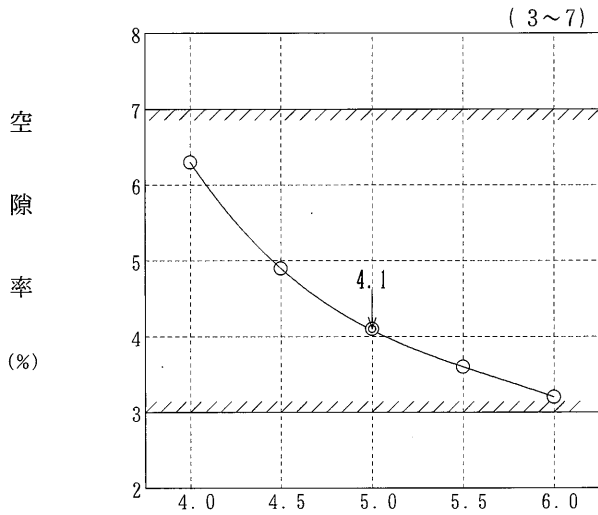
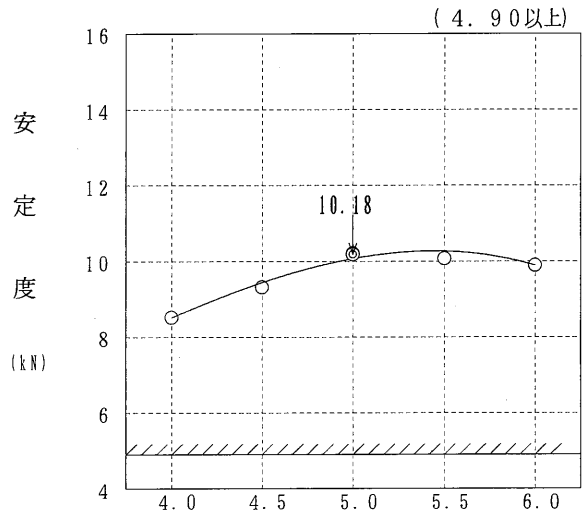
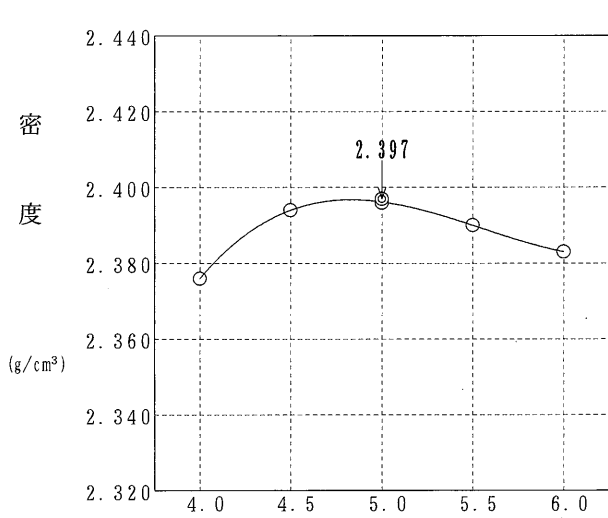
# マーシャル安定度試験

目的 配合設計 (現場)

試験年月日 2026年 2月 9日

混合物の種類 粗粒度アスコン(20) (ECOフォームト)

試験者 村島 誠治



# 現場 マーシャル安定度試験 (中温化)

目的 配合設計 (現場 中温化)

試験年月日 2026年 2月 9日

混合物の種類 粗粒度アスコン(20) (ECOフォームト)

試験者 村島 誠治

アスファルトの種類 ストレートAs60-80

アスファルトの密度 (A) 1.038 アスファルトの温度 \_\_\_\_\_ °C

骨材の温度 \_\_\_\_\_ °C

突固め温度 - °C

突固め回数 50 回

力計の係数 (B) XYレコーダー

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ ⑧		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ ⑭		⑮	⑯	
		突固め温度 (°C)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cc)	密度 (g/cm³)	かさ論 (g/cm³)	ア容スファルト積 (%)	空隙率 (%)	骨材空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度読み	安定度	フロー値 (1/100 cm)	安定度/フロー (kN/m)	
							⑤-④	③/⑥	①×⑦ (A)		⑨+⑩	⑫/⑩×100						
標準	1		6.29	1195.3	699.5	1197.5	498.0	2.400							9.88	28		
	2	145	6.37	1202.0	705.8	1204.6	498.8	2.410							11.44	25		
	3		6.40	1195.6	701.7	1198.0	496.3	2.409							10.00	24		
	平均								2.406	2.499	11.6	3.7	15.3	75.8		10.44	26	4015
標準	4		6.39	1195.8	698.6	1198.1	499.5	2.394							10.19	24		
	5	135	6.42	1202.3	704.4	1204.7	500.3	2.403							10.54	34		
	6		6.42	1199.6	704.9	1201.8	496.9	2.414							10.35	30		
	平均								2.404	2.499	11.6	3.8	15.4	75.3		10.36	29	3572
標準	7		6.41	1204.8	703.7	1207.2	503.5	2.393							9.44	36		
	8	125	6.42	1196.7	700.7	1199.1	498.4	2.401							11.29	27		
	9		6.32	1198.1	701.7	1200.3	498.6	2.403							10.14	33		
	平均								2.399	2.499	11.6	4.0	15.6	74.4		10.29	32	3216
標準	10		6.35	1200.5	697.1	1202.8	505.7	2.374							8.07	48		
	11	115	6.44	1204.0	700.2	1206.3	506.1	2.379							9.94	43		
	12		6.44	1198.2	694.7	1200.7	506.0	2.368							9.07	46		
	平均								2.374	2.499	11.4	5.0	16.4	69.5		9.03	46	1963
	平均																	

$$\textcircled{10} = (1 - \textcircled{7} / \textcircled{8}) \times 100$$

# 現場 混合物の突固め温度下限値の確認

目的 配合設計 (現場 中温化)

試験年月日 2026年 2月 9日

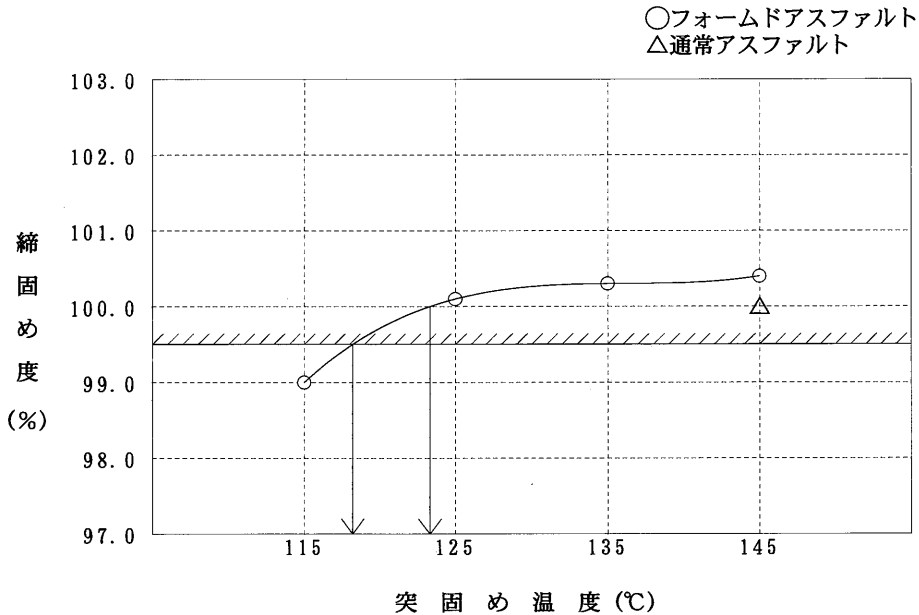
混合物の種類 粗粒度アスコン(20) (EC0フォームト)

試験者 村島 誠治

フォームドアスファルト使用時の混合物にて、突固め温度を変化させた供試体密度を測定し、縮固め度から突固め温度下限値を決定するとともに、混合物性状確認を行う。

縮固め度は、フォームドアスファルト未使用の通常アスファルト時に決定した突固め温度で作製した供試体の密度を基準密度とする。

項目			理論密度 (g/cm <sup>3</sup> )	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100 cm)	縮固め度 (%)
フォームドアスファルト	突固め温度	As量 規格	—	—	3~7	65~85	4.90以上	20~40	—
未使用	145℃	5.0%	2.499	2.397	4.1	73.7	10.18	33	100.0
使用	145℃		2.499	2.406	3.7	75.8	10.44	26	100.4
使用	135℃		2.499	2.404	3.8	75.3	10.36	29	100.3
使用	125℃		2.499	2.399	4.0	74.4	10.29	32	100.1
使用	115℃		2.499	2.374	5.0	69.5	9.03	46	99.0



グラフより、

縮固め度100.0%が得られる突固め温度は123℃となった。

縮固め度99.5%以上が得られる突固め温度は118℃となった。



# 現場配合の決定

目的配合設計

試験年月日 2026年 2月 9日

混合物の種類 粗粒度アスコン(20)(ECOフォーム)

試験者 村島 誠治

1バッチ 1000 kg

		骨材配合比(%)	設計アスファルト量(%)	プラント配合比(%)	1バッチ質量(kg)	骨材累加質量(kg)
1	ビ ン	23.0		21.9	219.0	219.0
2	ビ ン	17.0		16.2	162.0	381.0
3	ビ ン	36.0		34.0	340.0	721.0
4	ビ ン	18.0		17.1	171.0	892.0
	回 収 ダ ス ト	1.0		1.0	10.0	902.0
	石 粉	5.0		4.8	48.0	48.0
	ア ス フ ァ ル ト		5.0	5.0	50.0	50.0
	合 計	100.0		100.0	1000.0	1000.0

混合時間..... ドライタイム 20秒      ウェットタイム 30秒